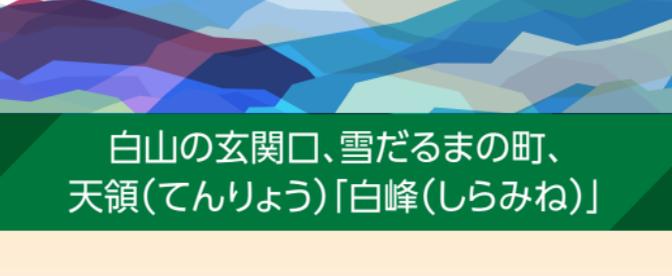




# 白山麓ご当地 おもしろお宝探し

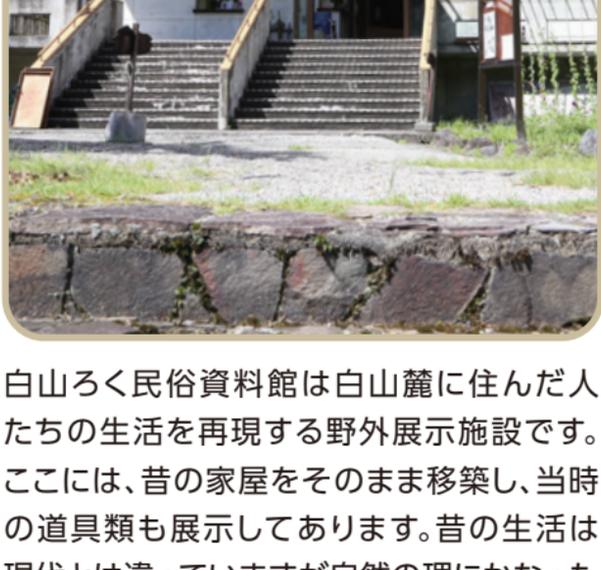
## 石川県白山市白峰編

白峰(しらみね)地区は石川県白山市にあります。中世以降、白山の登山路の越前禅定道の経路として栄え、江戸時代は、加賀藩と福井藩の間で所属をめぐる争いが絶えず、天領とされていました。世界でも有数の豪雪地帯であり、山あいの急峻な地形で水田が少なかったことから、山腹で焼き畑耕作を主とした出作り農業がなされていました。白峰地区は石川県側の白山への玄関口となり、古い町並みや温泉など豊かな自然に囲まれた所です。また、地理的・歴史的に他の地域と隔絶されてきており、白峰独特の方言や文化が今でも多く残っています。ここでは白峰地区の「お宝」を探してみます。



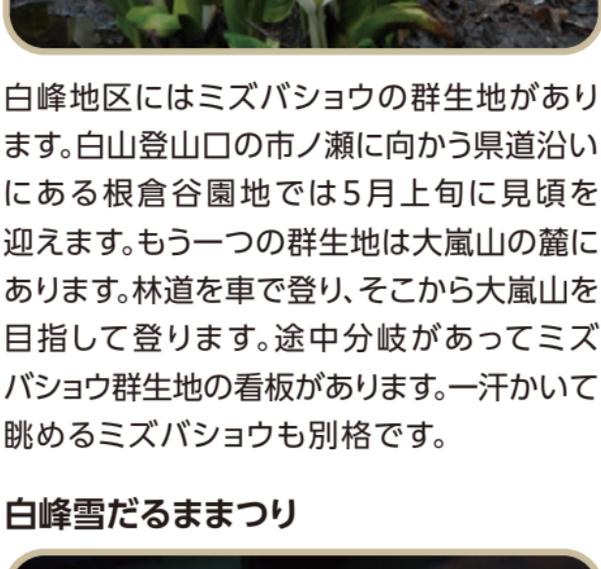
### 白山の玄関口、雪だるまの町、 天領(てんりょう)「白峰(しらみね)」

#### 白山ろく民俗資料館



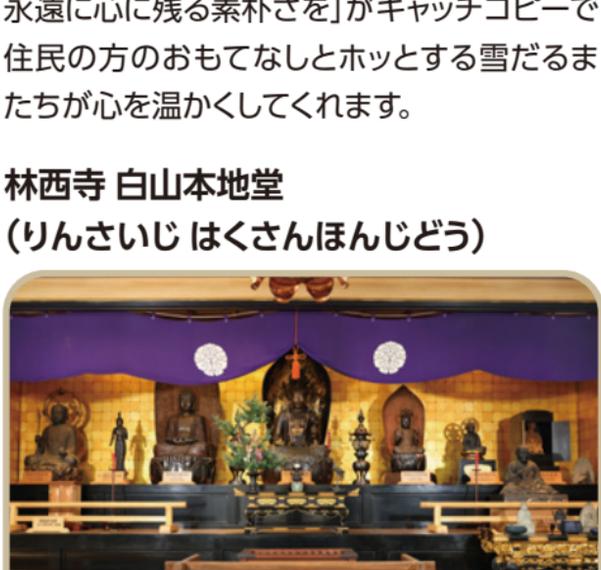
白山ろく民俗資料館は白山麓に住んだ人たちの生活を再現する野外展示施設です。ここには、昔の家屋をそのまま移築し、当時の道具類も展示してあります。昔の生活は現代とは違っていますが自然の理にかなった生活にはなるほどと感心します。昔の山村生活を体験してみませんか。

#### ミズバショウ



白峰地区にはミズバショウの群生地があります。白山登山口の市ノ瀬に向かう県道沿いにある根倉谷園地では5月上旬に見頃を迎えます。もう一つの群生地は大嵐山の麓にあります。林道を車で登り、そこから大嵐山を目指して登ります。途中分岐があってミズバショウ群生地の看板があります。一汗かいて眺めるミズバショウも別格です。

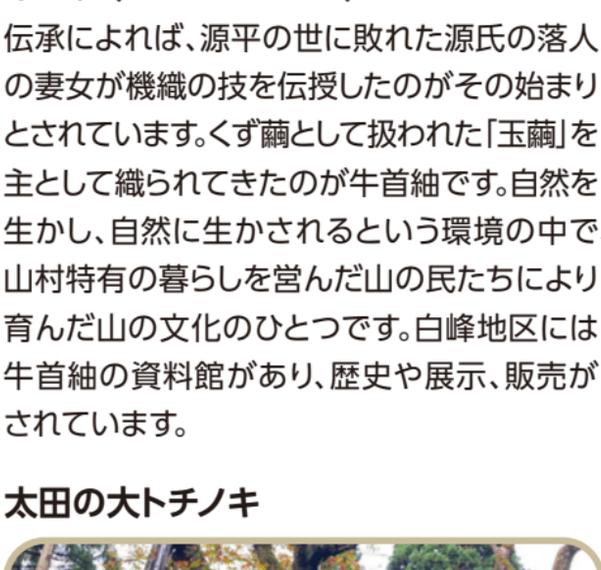
#### 白峰雪だるままつり



白峰雪だるままつりは深い雪に覆われた2月上旬に白峰地区と桑島地区で開催されます。住民の方が各家の軒先に工夫を凝らせた手作りの雪だるまをつくり、蝋燭の灯りでライトアップします。「明日忘れる豪華さよりも、永遠に心に残る素朴さを」がキャッチコピーで住民の方のおもてなしとホッとさせる雪だるまたちが心を温かくしてくれます。

#### 林西寺 白山本地堂

(りんさいじはくさんほんじどう)

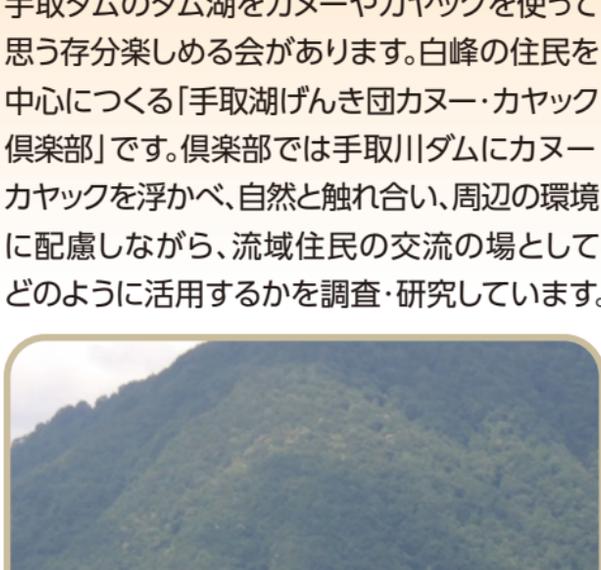


このお堂の仏像はいずれも下山仏といわれるもので、白山山頂やその周辺に安置されていた仏像が、明治初年の神仏分離政策により山を追われ打ち捨てられる運命にあった仏像を白山から下ろし、林西寺に移されたものです。下山仏は全部で七体あり、中尊は白山の主峰、御前峰の現在奥宮のあるところに安置されていた十一面観音座像です。その左右に阿弥陀如来座像と聖観音座像があり、それぞれ大汝峰、別山の頂上に安置されていました。

#### 牛首紬(うしくびつむぎ)

伝承によれば、源平の世に敗れた源氏の落人の妻女が機織の技を伝授したのがその始まりとされています。くず繭として扱われた「玉繭」を主として織られてきたのが牛首紬です。自然を生かし、自然に生かされるという環境の中で、山村特有の暮らしを営んだ山の民たちにより育んだ山の文化のひとつです。白峰地区には牛首紬の資料館があり、歴史や展示、販売がされています。

#### 太田の大トチノキ



国の天然記念物に指定されている巨木で、今のところ日本で最も大きいトチノキです。国道157号沿い、大道谷地区(おおみちだにちく)の堂の森神社から歩くこと約1時間半の場所にあります。日本の名木百選にも選ばれ、樹齢は約1300年、幹周約13m、樹高約25mになります。その巨大な姿を眺めていると、白山の自然のふところの深さを感じることができます。



### 手取湖を楽しむ!

手取ダムのダム湖をカヌーやカヤックを使って思う存分楽しめる会があります。白峰の住民を中心につくる「手取湖げんき団カヌー・カヤック倶楽部」です。倶楽部では手取川ダムにカヌー・カヤックを浮かべ、自然と触れ合い、周辺の環境に配慮しながら、流域住民の交流の場としてどのように活用するかを調査・研究しています。



「手取湖げんき団カヌー・カヤック倶楽部」  
<http://tedorikogccc.g1.xrea.com/index.html>

環境省中部地方環境事務所・環白山保護利用管理協会

